



40代からの インプラント入門！



失った歯のかわりに「インプラントを入れる」という選択肢が日本にも定着してすでに数十年になります。自分の歯のように自立してしっかり噛めるインプラントは多くの人に喜ばれているすぐれた治療法です。ただし、治療が終わるまでには時間と費用がかかり、患者さんの一生を支えるライフイベントとして、重要な決断になるのではないのでしょうか。

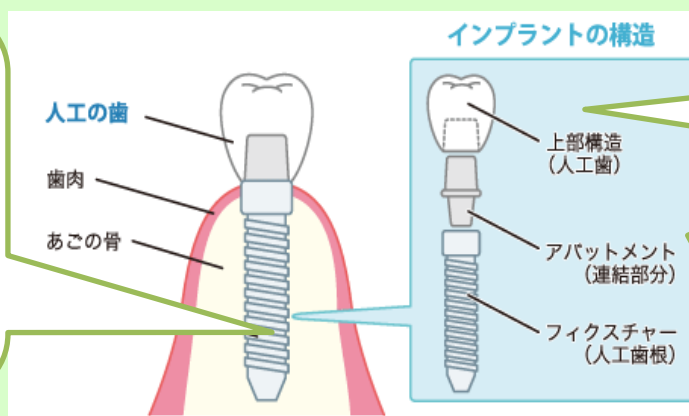
インプラント治療に興味があるかたは、知識を得てじっくり検討してみてください。

インプラントの構造ってどうなっているの??



インプラント体。

人工の歯根でチタン製。ネジのように埋め込んでそっとしておくと、ガッチリとあごの骨と結合し、本物の歯のようにしっかりと根付く。結合するには3~6か月程度かかる。よほど強い力が加わらない限りめったに折れない。



人工の歯冠。

アバットメントの上にネジや接着剤でとめる。

インプラント体と上部構造を連結させるパーツ。

歯科医の定期的なメンテナンスをおこなうと、接合部に歯石やプラークがつき炎症の元になるのでお手入れがとても重要。

メリット



- 周りの健康な歯を削る必要がない。
- 噛む力が落ちず、違和感がほとんどない。



デメリット



- 治療期間が長く、治療費が高価。
- 歯科医での定期的なメンテナンスが必要。



手術後の痛みや腫れは？

痛みの感じかたは個人差があるので一概には言えないですが、術後1日ほど軽く痛む程度でしょう。年齢が高いほど腫れは少ない一方、腫れが引くのは遅くなります。

インプラント治療に不適應なケースとは？

- 成長過程にあるかた
- 免疫不全症のかた
- 抗がん剤で治療中のかた
- 放射線療法を受けているかた
- ホルモン療法を受けているかたなどはインプラント治療に不適應な場合があります。全身疾患のある患者さんの場合、主治医と連絡をとり、治療可能か確認して進めさせていただきます。